

才藤栄一先生が米国医学アカデミー国際会員に選出されました

当学会の正会員であり、2006年から2011年に理事（2010年、2011年は副会長）、2012年には第28回学術大会長をつとめられた才藤栄一先生が、2020年10月に開催された米国医学アカデミー（National Academy of Medicine）の年次総会において国際会員に選出されました。

同アカデミーは1970年に設立された独立非営利の学術機関であり、米国科学アカデミー、米国工学アカデミーとともに、独立した客観的な分析に基づき、社会問題解決と政策決定に必要な情報を政府に提供しています。この会員資格は、米国の医学、医療、公衆衛生分野における最高の栄誉といわれ、これまでにノーベル賞受賞者など著名な研究者を含む正会員2,200名、国際会員175名が選出されています。本邦からは、黒川清氏（1996）、岸本忠三氏（1997）、山中伸弥氏（2015）など12名が選ばれており、リハビリテーション医学、義肢装具学領域からは初めてのことです。

会員の皆様もご存じのように、才藤先生は義肢装具のみならずリハビリテーションロボット・支援機器に関する研究、開発に多大な貢献をされています。日本義肢装具学会の発展にご尽力された才藤先生が、このような栄誉ある国際会員に選出されたことは、本学会としても誇るべきことと思います。本学会を代表してお祝いの言葉を才藤先生にお送りするとともに、謹んで会員の皆様にご報告申し上げます。

一般社団法人 日本義肢装具学会
理事長 芳賀信彦